



サノヤスホールディングス株式会社

第13期定時株主総会

2024年6月25日

Sanoyas

1. 事業の経過及びその成果
2. 連結貸借対照表
3. 対処すべき課題

事業の経過及びその成果

(百万円)	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	2025年3月期 予想
売上高	20,145	23,352	3,207	23,500
営業利益	95	509	414	100
経常利益	395	636	240	200
親会社株主に帰属する 当期純利益	425	459	33	200

 サノヤスホールディングス株式会社

	サノヤス・ エンジニアリング	サノヤス精密工業	みづほ工業／ 美之賀機械	サノヤス・ エンテック	ハピネスデンキ	松栄電機／ 松栄電気システム コントロール	サノヤス・ライド／ サノヤス・ライド サービス
製造業向け セグメント	ブラストマシン	各種産業機械部品	乳化・攪拌装置	環境装置			
		農機及び特装 自動車用部品	純水設備、排水 処理設備及び 膜分離装置	医療廃棄物処理 装置			
			大型食品タンク等 各種タンク				
建設業向け セグメント	機械式駐車装置			空調・給排水・ 衛生設備	大規模施設向け 動力制御盤・ 分電盤・配電盤	通信インフラ向け 配電盤・分電盤	
	建設工事用 エレベーター						
レジャー セグメント							遊園地遊戯機械
							遊園地施設の 運営管理

事業の経過及びその成果

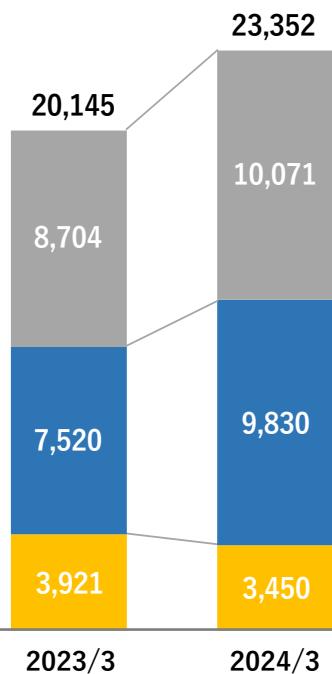
大幅な増収・増益、受注高・受注残高も大きく積み上がる

- ・売上高は、製造業向けセグメントは乳化・攪拌装置の製造等全般に好調、建設業向けセグメントは旺盛な建設需要を背景に好調に推移、2022年8月に買収した松栄電機(株)の売上高が通年で寄与
- ・大型の遊戯機械の受注があったレジャーセグメント、並びに建設業向けセグメントで受注高が伸長

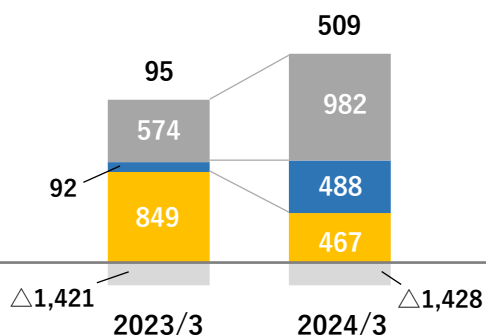
■ 製造業向け
■ 建設業向け
■ レジャー
■ 本社部門

(百万円)

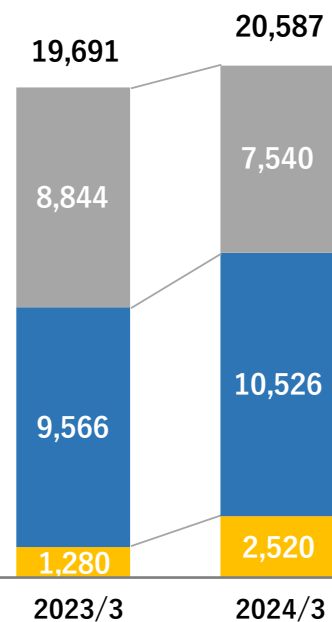
売上高



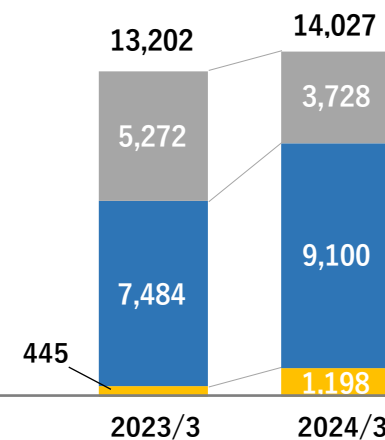
営業損益



受注高



受注残高



製造業向けセグメント



増収・増益、受注高・受注残高は減少

- ・売上高は、半導体不況や中国向け需要の減退により産業機械部品の製造及び組立が大きく落ち込むも乳化・攪拌装置の製造において国内事業が好調に推移したことに加え、中国向けで大口売上を計上する等順調、環境装置の製造及びメンテナンスも好調
- ・受注は、産業機械部品の製造及び組立は半導体や中国マーケットの回復が遅れ低調、乳化・攪拌装置の製造でも中国経済低迷による設備投資減速の影響を受ける

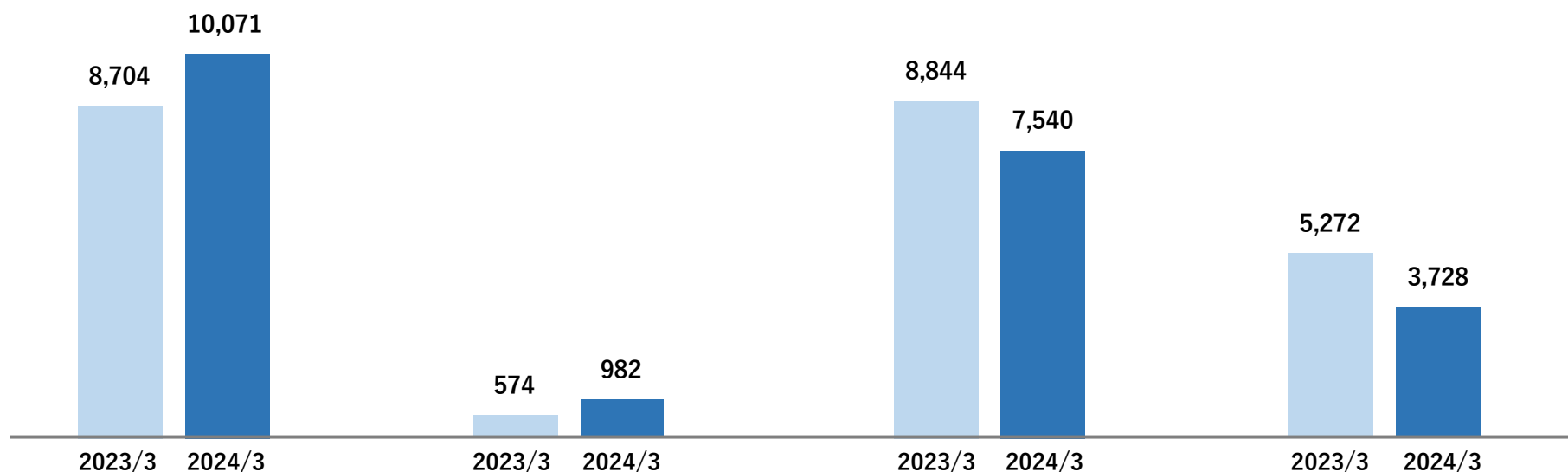
(百万円)

売上高

営業損益

受注高

受注残高



建設業向けセグメント



事業の経過及びその成果



サノヤスホールディングス株式会社

大幅増収・増益、受注高・受注残高ともに大きく伸長

- ・売上高は、高層ビル用を中心とする動力制御盤・分電盤・配電盤の製造や機械式駐車装置のメンテ修繕及びリニューアル工事が復調、建設工事用エレベーターの製造及びレンタルや空調・給排水・衛生設備の設計及び施工等全ての事業で順調に推移、2022年8月に買収した松栄電機㈱の売上高が通年で寄与
- ・機械式駐車装置のメンテ修繕及びリニューアル工事や空調・給排水・衛生設備の設計及び施工で受注が積み上がる

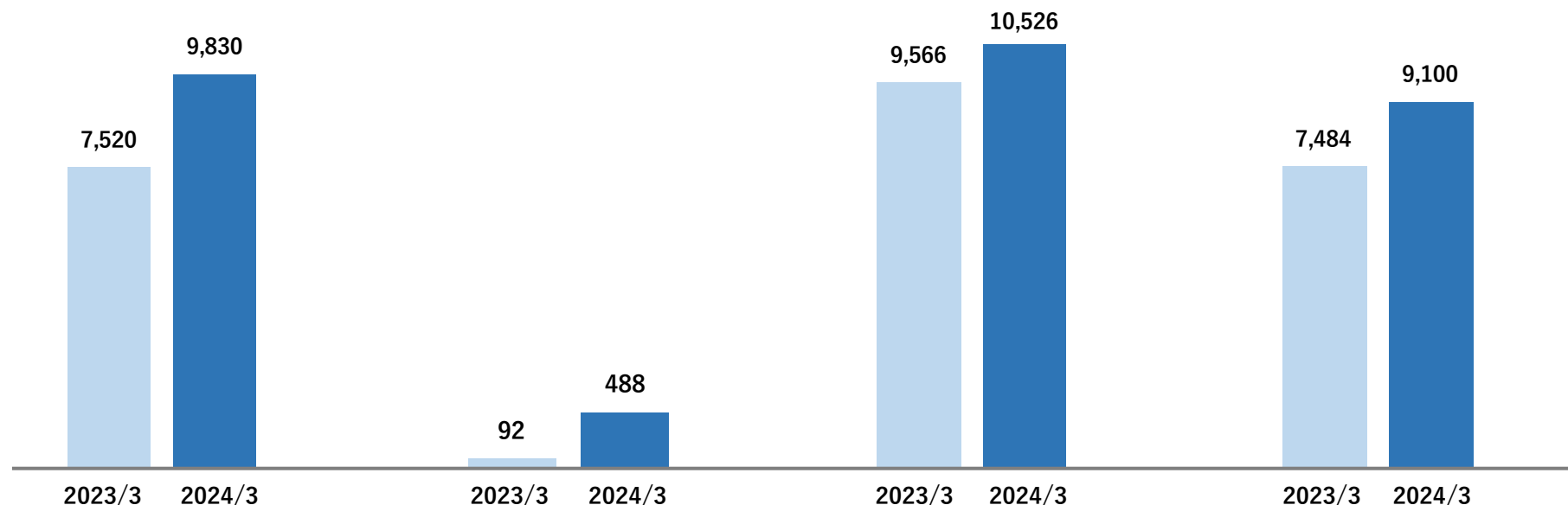
(百万円)

売上高

営業損益

受注高

受注残高



レジャーセグメント



事業の経過及びその成果

減収・減益も、受注高・受注残高は大きく伸長

- ・売上高は、部品販売・メンテナンスは好調に推移も、遊戯機械設備の販売が少なかったこと、遊園地施設運営において2022年8月31日に営業を終了したパレットタウン大観覧車の売上がなくなったこと、及び休日の天候不順により来客者数が伸び悩む
- ・(株)よみうりランドから大型の観覧車を受注したこと等から、受注高、受注残高ともに大きく伸長

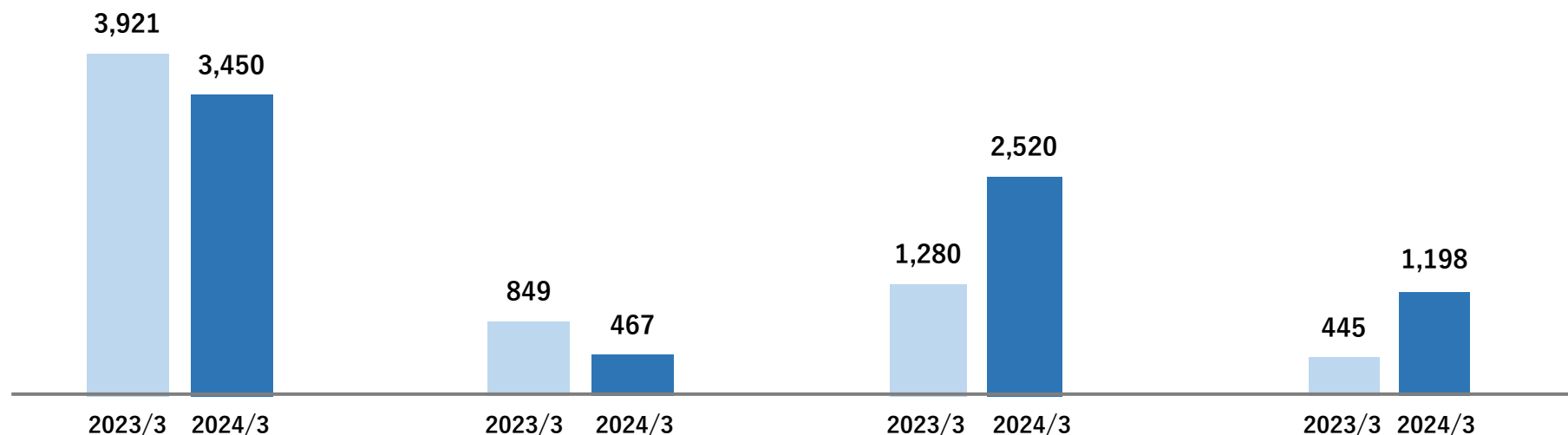
(百万円)

売上高

営業損益

受注高

受注残高



1. 事業の経過及びその成果
2. 連結貸借対照表
3. 対処すべき課題

連結貸借対照表



サノヤスホールディングス株式会社

(単位：百万円、表中の括弧内上段は前期末比増減、下段は同増減率)

資産の部		負債の部	
流動資産	12,446 (+638 +5.4%)	流動負債	12,025 (+1,629 +15.7%)
		固定負債	6,261 (▲1,034 ▲14.2%)
		負債合計	18,287 (+595 +5.4%)
		内 有利子負債	8,100 (▲405 ▲4.8%)
固定資産	14,803 (+907 +6.5%)	純資産の部	
		純資産合計	8,961 (+951 +11.9%)
		自己資本比率	32.7% (+1.8ポイント)
資産合計	27,249 (+1,546 +6.0%)	負債及び 純資産合計	27,249 (+1,546 +6.0%)

1. 事業の経過及びその成果
2. 連結貸借対照表
3. 対処すべき課題



サノヤスグループ 中期経営計画<'24-'26>



サノヤスグループは持続可能な
開発目標(SDGs)を支援しています

Medium-Term Management Plan

【グループ理念】

確かな技術に まごころこめて 人と技術を磨き、新たな顧客価値を創出する

【グループビジョン】

社会課題の解決を通して、全ての人々の“喜び”と
“満足”の実現に貢献します
<お客様・お取引先・パートナー企業・社員・株主・社会等>
お客様のニーズに適切に応え、絆を深めることによって
お客様と共に成長できる企業であり続けます
誰もが未来志向を持ち、生き活きと働ける職場で社会の
発展に貢献していきます

【行動原則】

1. 技術を極める
2. 誠実に行動する
3. 不断の努力をする
4. 感謝と思いやりの心を持つ
5. 仲間を信頼し、チーム力を最大化する

【中期経営計画 骨子】

事業成長
エンジン強化

1. 注力分野の成長ドライブ

・産業インフラ・環境関連ソリューションの拡充にリソースを重点投下

2. 既存事業の強化

・成長分野へのリソースの優先配分と新製品開発による差別化戦略の実行
・各事業分野においてメンテ・サービスの強化を通じて、顧客との信頼関係を更に強化

ソリューション
強化

イノベーション

3. 新規事業分野への進出

・新マーケット開拓や海外展開に加え、M&Aによる新規事業分野への進出も展望

ESG経営の
進化・深化

4. カーボンニュートラル実現に向けた取組み推進

5. 人的資本経営の充実

・オペレーション強化のための人財確保の推進
・働き甲斐の向上に向けた人事制度改革の推進

事業基盤の
強化

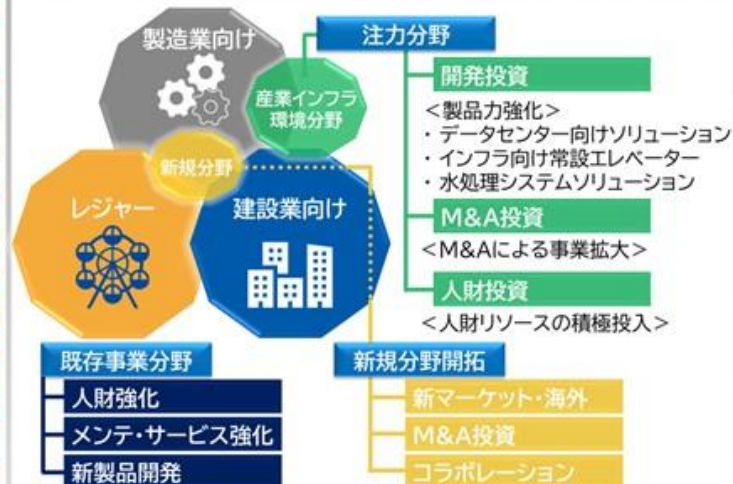
6. 収益力アップに向けた事業基盤の強化

・営業力・ものづくり力を強化することによる収益力の向上を実現

【経営指標】

	2023年度 見通し	2026年度 計画	2030年度 目標
売上高	233億円	300億円	500億円
営業利益	4.0億円	10.0億円	25.0億円
営業利益率	1.7%	3.3%	5%
ROE	4.9%	6%以上	10%以上
中期経営計画 2024～26年度		次期中期経営計画 2027～30年度	

【事業成長エンジン強化の全体像】



2024年4月イノベーション推進委員会を設置しました

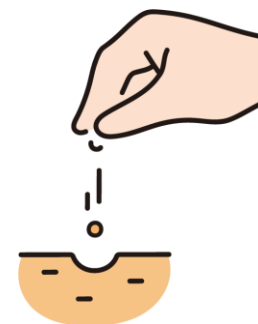
新生サノヤス10周年(2030年度)に向けた基本方針
(サノヤスグループ中期経営計画〈'24-'26〉より)

- ・ソリューションの強化
- ・イノベーションへの挑戦
- ・ESG経営の進化・深化

イノベーション推進委員会

- ①従来にはない新しい製品やサービスの創出
- ②新たな価値観の提案
- ③新しい市場への参入および新しい販売先や顧客の獲得
- ④自社だけでなく他と協力して新たな分野への進出

などを検討実施することで、更なる将来的な発展を目指すため
各グループ会社からメンバーを選抜し、社長直轄の委員会を設置しました





サノヤスホールディングス株式会社

「確かな技術にまごころこめて」
人と技術を磨き、新たな顧客価値を創出する

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。